

# 北九州市民の会ニュース

7月11日

## 戦争法案を許さない！北九州集会

7月11日（土）13：00から「戦争法案は廃案！」この声を安倍に！戦争法案を許さない！北九州集会が北九州市役所本庁舎前の勝山公園で行われます。

安倍首相は戦争法案を通すために国会の会期を延長しました。戦争法案に関しては多くの国民が反対しており、憲法学者の中でも「憲法違反」であることが多数を占めています。国民の声を聞かず、間違っていることが明らかな法案を通すことに安倍政権は躍起になっています。

政府が推し進めるこの法案を通してはなりません。「戦争法案反対！」の声を北九州で上げましょう。

## 憲法連続講座が行われました

6月27日（土）戸畑生涯学習センターにて憲法連続講座と9条の会交流会が行われました。

憲法連続講座は北九州憲法ネットが主催をしており、定期的に行っています。今回は弁護士法人女性総合法律事務所ラレーヌピクトリアの里本麻衣弁護士が講師となり、「戦争法案」をめぐる諸問題について講演を行いました。戦争法案についての内容で自衛隊の海外派兵、集団的自衛権についての解釈、存立危機事態とは何なのかということを知りやすく講演しました。全体として戦争法案は抽象的であり、危険なものであると訴えました。

連続講座のあと、北九州市内の9条の会の交流を行いました。各9条の会の日々の活動や戦争法案に反対するためにぜひ協力していきたいと交流が行われました。

7月11日(土) 13時より  
「戦争法案は廃案！」  
この声を安倍内閣に!  
**戦争法案を許さない!**  
**北九州集会**

場所 勝山公園 (市庁舎本庁前)

7. 必要なのは2000人!

安倍内閣は、今の通常国会を65日も延長しました。戦争法案を何の行でも成立させようとしています。しかし日増しに高まる「戦争法案は憲法違反!」「戦争するな!」の市民の声。6月24日は3万人もの市民が国会を包囲しました。全国各地でも、集会やデモ行進が行われています。安倍内閣は、立ち往生しつつあります。今、必要なことは市民が声を上げることです。誰でも参加できる機会です。あなたもぜひ参加を!

○集会終了後、小倉駅前までデモ行進! (2000名以上参加予定)

主催: 戦争法案を許さない!北九州行動実行委員会 TEL093-921-0747 (北九州地区各支部)

【7月11日の北九州集会ビラ】



【感想交流の様子】

平和とくらしを守る北九州市民の会  
〒803-0817 小倉北区田町13-21 田町ビル3F  
TEL093-592-5000 FAX093-571-4346  
<http://siminnokai.sakura.ne.jp>  
e-mail:koe@siminnokai.com

# 北九州市民の会ニュース

## NPTと戦争法案についての学習会

6月28日（日）に日本共産党、民青同盟合同でNPTと平和安全法制についての学習会を行いました。



【NPT報告の様子】

まず初めに、民青同盟福岡県委員会の山野さんよりNPTの報告が行われました。

山野さんは今年5月に行われたNPT再検討会議へ参加するためにニューヨークへいった経験をはなし、核廃絶が世界でどのように行われているのかということ報告しました。

「日本からは核兵器の全面禁止を求める署名が約633万筆も集まり、核兵器の廃絶を求める署名を提出してきました。最終文章の合意は得られなかったものの、各国は核兵器の縮小、廃絶は必要な物という意見が出されたことは大きな一歩だった」と話しました。

また、「ニューヨークへ行き、英語での署名活動も行いとても大変だったが、とてもいい経験になった。5月1日シカゴでメーデーに参加するなど、多くのことを経験した。自分たちの活動が世界へつながっていくということを感じ、今後も一層署名活動なども頑張っていきたい」と話しました。

次に、北九州第一法律事務所の今里弁護士による、「平和安全法制の内容とその問題点について」の講演が行われました。

政府が推し進めている集団的自衛権の行使についての矛盾や集団的自衛権の論拠として



【今里弁護士の講演の様子】

いる「砂川事件」についての解説を行いました。

「平和安全法制」がいかに憲法とはそぐわないかということが明らかになりました。「今回の平和安全法制を国会で通しても、何もしないとは思いますが、そのことによって国民に『ほとんどかわらないな』と思わせて、より戦争できる国づくりにしていくと思います。それほど矛盾していますし、そういった段階を踏むことで将来的に自衛隊を海外派兵することができるようにするのでしょうか。それは今の若い人へ負担を押し付けるものであり、今阻止する必要があります。そのためには、党派を超えて多くの人を巻き込んで反対していくことが必要です」とまとめました。



【感想交流の様子】

その後、感想交流をおこないました。今年には日本に核兵器が落とされて70年、悲惨な戦争が終わって70年となります。こうした特別な年に戦争の悲惨さ、平和の大切さを考えるべきですが、戦争に向かっています。決して戦争のことを忘れてはいけませんし、平和のために運動していかなければなりません。